

## 2-① 過去に発生した津波の実績津波高の整理

### ■ 津波堆積物の有無および確実度に関する判定区分

#### 津波堆積物の有無および確実度に関する判定区分

**判定区分：津波以外他起源も考えられるが決定できない場合**



4: 津波堆積物あり(イベント堆積物を認定した場合)

※津波以外の起源: 高潮・高波、飛砂、河川洪水や背後の斜面からの供給の可能性のあるもの。人為の可能性のあるもの含む。



A1 : 津波堆積物無し(根拠が十分な場合)



B : 津波堆積物無し(根拠が不十分な場合)



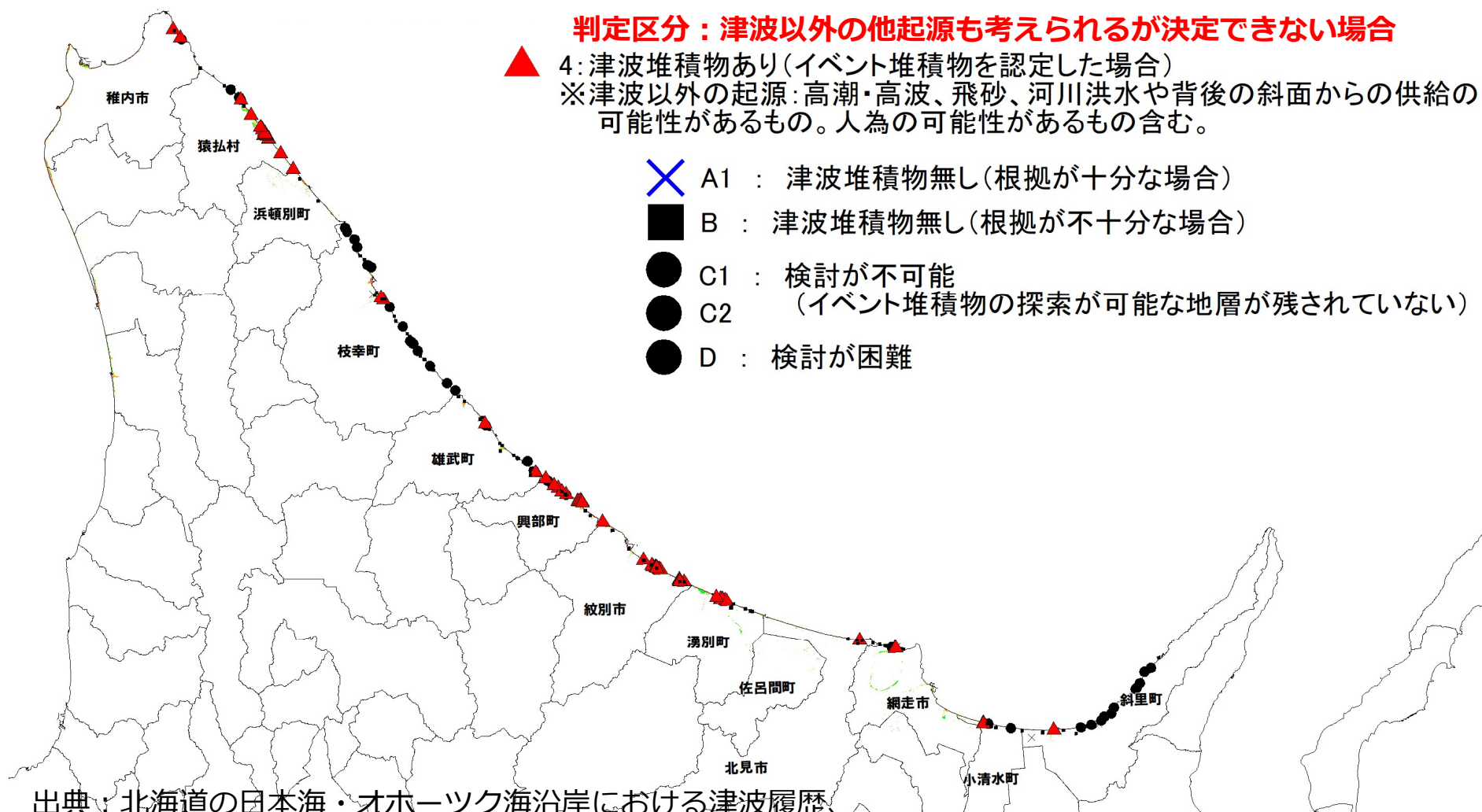
C1 : 検討が不可能



C2 (イベント堆積物の探索が可能な地層が残されていない)



D : 検討が困難



出典：北海道の日本海・オホーツク海沿岸における津波履歴、

(地独) 北海道立総合研究機構 エネルギー・環境・地質研究所 調査研究報告 2015、第42号

## 2-②最大クラス津波の設定の手順



### 1. 最大クラスの津波の設定単位

最大クラスの津波の設定は、地域海岸ごとに設定することが基本



### 2. 最大クラスの津波の設定手順

#### ① 過去に発生した津波の実績津波高の整理

✓ 痕跡高調査・津波堆積物調査・歴史記録・文献等を活用

#### ② 過去に発生した津波の津波高のシミュレーションによる想定

✓ 地震発生の記録はあるが、津波高のデータが無い場合は、可能な範囲で津波浸水シミュレーション等により津波高を想定

#### ③ 発生が想定される津波の津波高の整理

✓ 想定地震により引き起こされる津波の津波高を整理・活用

#### ④ 最大クラスの津波の設定

- ✓ 上記で整理した津波からグラフを作成し、津波高が最も大きい津波を最大クラスの津波として設定
- ✓ 今後、中央防災会議等において検討が進み、想定地震の規模や対象範囲の見直し等が行われた場合には、適宜見直すことが必要

出典：津波浸水想定の設定の手引きver2.10（国交省，2019.4）

## 2-② 過去津波のシミュレーションによる津波高の整理

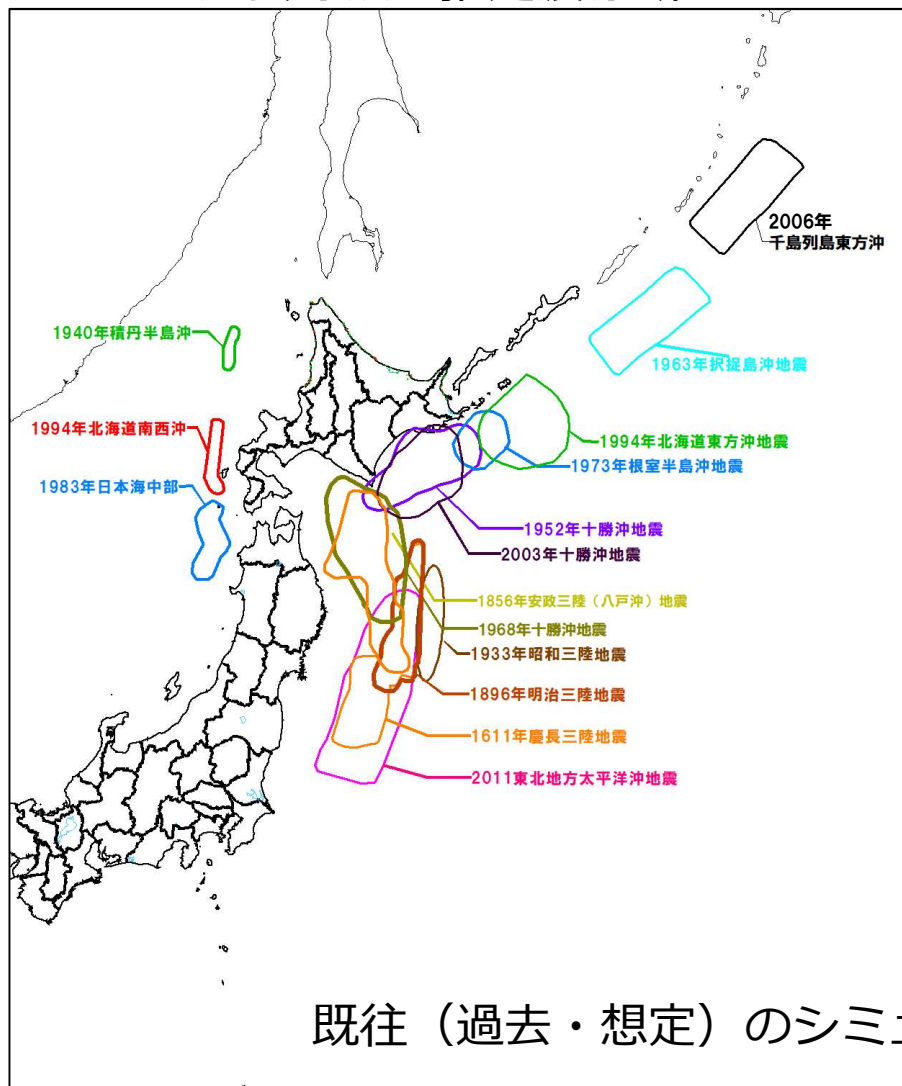
## 2-③ 既往想定津波のシミュレーションによる津波高の整理



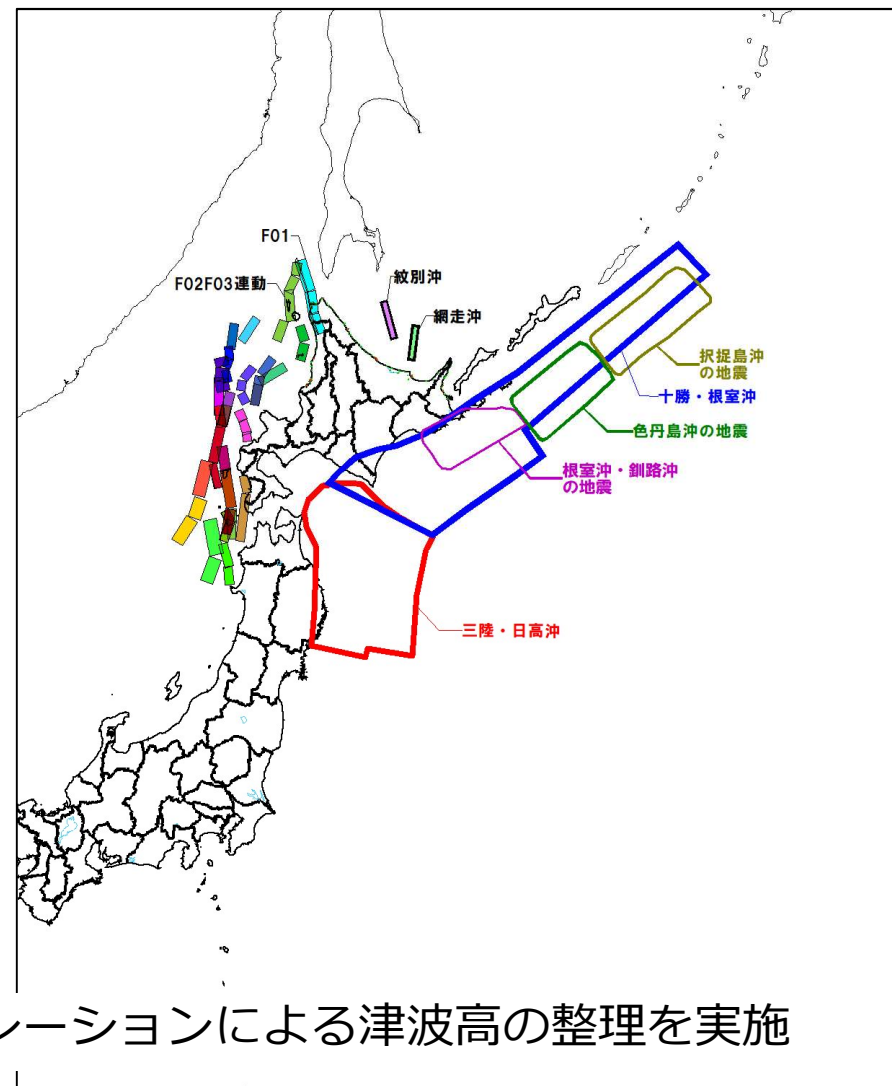
北海道

11

過去津波の推定波源域



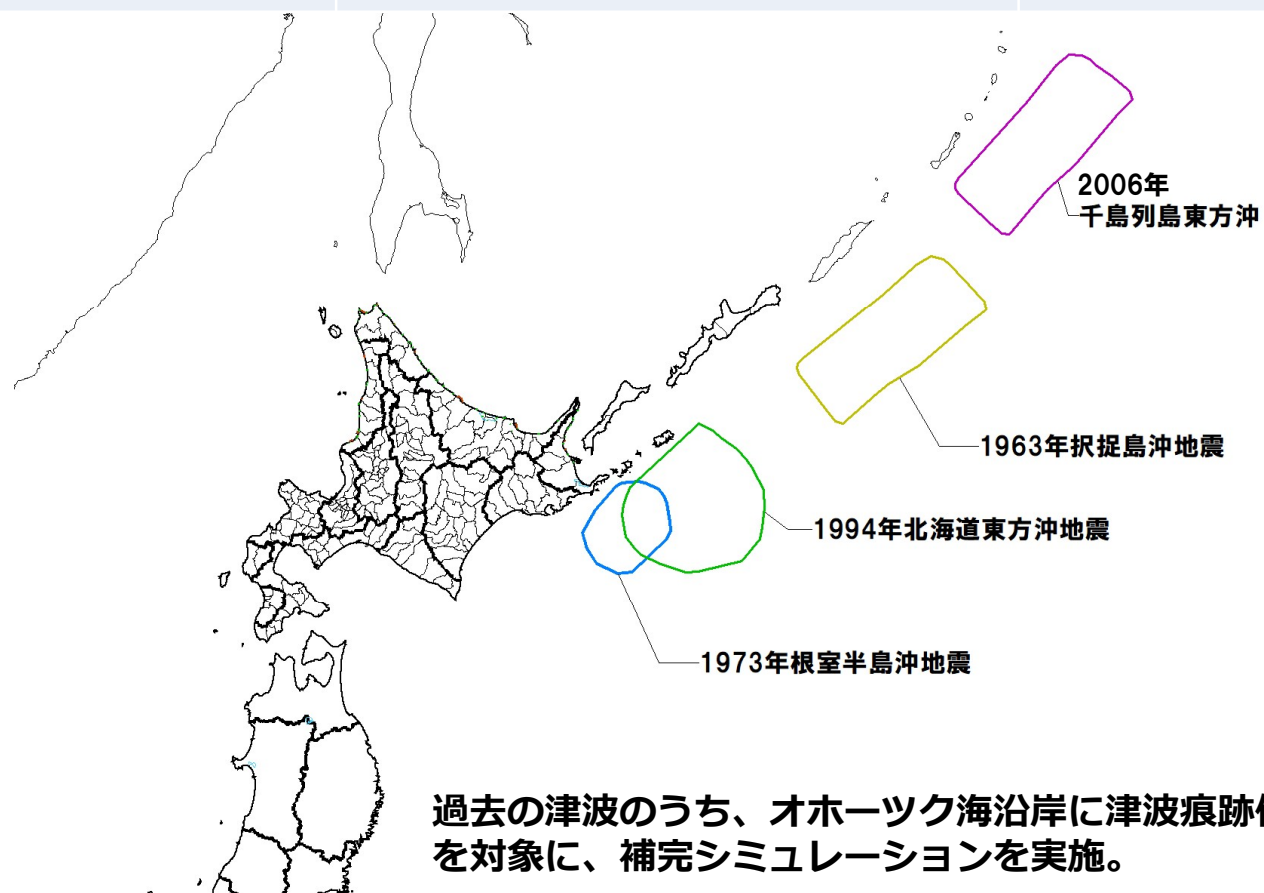
既往検討の想定津波の波源域



既往（過去・想定）のシミュレーションによる津波高の整理を実施

## 2-② 過去津波のシミュレーションによる津波高の整理

| 過去津波    | 津波断層モデル        | 備考                                                |
|---------|----------------|---------------------------------------------------|
| 択捉島沖    | 中央防災会議（H18）    | 択捉島沖の地震津波に相当                                      |
| 根室半島沖   | 中央防災会議モデル（H18） | 痕跡記録は、漁港・港湾に数点と沿岸部に津波高のデータがほとんどないため、補完シミュレーションを実施 |
| 北海道東方沖  | 高橋ら（1995）      |                                                   |
| 千島列島東方沖 | 伊尾木・谷岡（2009）   |                                                   |



## 2-② 過去津波のシミュレーションによる津波高の整理 試算結果：津波伝播動画

